

議会報告会、わがまちトーク開催方針（案）

○平成30年度議会報告会、わがまちトークの開催について

亀岡市議会基本条例に基づき、議会報告会及びわがまちトークを実施する。

【亀岡市議会基本条例】

（議会報告会等）

第7条 議会は、議会の説明責任を果たすとともに、市民の意見を議会活動に反映させるため、議会報告会を毎年開催する。

2 議会は、議会の政策形成等に関して、市民との意見交換の場を多様に設けるものとする。

1 議会報告会

必要に応じて開催する。

2 わがまちトーク

①自治会版

- ・各自治会に開催希望の有無、希望される場合の日程、テーマ等を照会し、希望のあった自治会と日程調整等を行い、実施する。

②各種団体版

- ・かめおか市議会だより等で開催希望（日程、テーマ等）の募集を行い、希望のあった各種団体（NPO 含）と日程調整等を行い、実施する。

議会報告会、わがまちトーク実施計画（案）

亀岡市議会基本条例に基づき、議会報告会及びわがまちトークを実施する。

1 平成30年度議会報告会

①時期

必要に応じて開催する。（時期は未定、議会日程を除く）

②内容

市の重要な施策や懸案事項等があれば報告する。

わがまちトークは実施せず、報告した内容についての質疑応答を行う。

③実施方法

亀岡市民（市内全域）を対象に実施する。

2 平成30年度わがまちトーク

①自治会版

- ・各自治会に対して、年度当初にわがまちトークの開催希望（日程、テーマ等）を照会する。
- ・希望のあった自治会と日程調整等を行い、開催する。
（議会日程等を除く）

②各種団体版

- ・かめおか市議会だより（4月30日発行）で開催希望（日程、テーマ等）の募集を行う。
- ・希望のあった各種団体等（NPO、成人式実行委員会等を含む）と日程調整等を行い、開催する。
（議会日程等を除く）

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H30. 1. 20 20:00～21:28)

会場(東本梅町ふれあいセンター)

テーマ(東本梅保育所存続について・町の活性化について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	昨年の地域こん談会において、平成33年4月に東本梅保育所と本梅保育所を統廃合する予定であると聞いたが、そんなに焦って統廃合する必要があるのか。		環境厚生			
2	第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画では、定住促進を推し進めているのに、東本梅保育所をなくしたら、ますます過疎化が進むのではないかと。農業の担い手を増やすためにも、東本梅保育所を存続させてほしい。	東本梅保育所の統廃合については、出された意見も取り入れ、今後どうするのか検討していく必要がある。西別院町では、定住促進により人口が10人程度増えており、農業の担い手も増えている。東本梅町においても、空き家対策などで町のPRをしていただきたい。	環境厚生			
3	岡山県奈義町では3LDKの住宅を家賃5万円で貸し出し、定住促進を図っている。東本梅町は自然環境も農業もすばらしい。議会のチェック機能を通して、行政の活性化を促してほしい。	長野県飯田市では定住促進のため、アパートを建て、消防団に入るなどの条件を付けて、貸し出している。他市の取組みなども参考に、定住促進に取組み、魅力のあるまちにしていきたい。	総務文教			
4	現在、2人の新規就農者を予定している。新規就農者には手厚い支援をお願いしたい。また、私たちの子どもや、Uターンで親の近くで暮らしたい人のために、家の改修補助などの支援事業をお願いしたい。		産業建設			
5	現在、2人の子どもを子育てしているが、3人目、4人目と子育てできるように支援をお願いしたい。定住促進をするなら、子育て世代に焦点を当て、支援していくことが大切である。そのためにも、東本梅保育所は残してほしい。行政側から十分な説明がされていないので、我々の意見をしっかりと行政に対して伝えてもらいたい。		環境厚生			
6	本日ここに集まっている人は、大半が保育所を存続してほしいと思っている。行政は、統廃合の方向へ進んでいる。議会として、しっかりと行政を正してほしい。		環境厚生			
7	雪害に遭った時の補償については、市からの説明がない。税金の使い方を考えてほしい。また、自然環境と農業について魅力がある町なので、それを生かした定住促進を行ってほしい。	行政に対して、しっかりと伝える。	総務文教 産業建設			
8	南丹市と比べ、亀岡市は小学校が近くにあっていいと言われる。統廃合などにより、数が少なくなることで不便なこともある。亀岡市は、小学校の統廃合など、南丹市と同じことをやっていると駄目だ。	行政に対して、しっかりと伝える。	総務文教			

わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H30. 2. 3 20:00～21:15)

会場(千代川町自治会館)

テーマ(安心、安全な千代川町のまちづくりについて)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	市道川関小林線は、交通対策をしていただいているが、公安委員会の速度規制など、なかなか進捗しない。道路が狭く、電柱なども自然のデバイスになってはいるが、ゾーン30の取組みなど早急な対策が必要である。	篠町では事故があり交通対策ができています。しかし事故が起こってからでは遅い。根本的に国道9号の渋滞対策を国にも要望していかなければならないが、引き続き自治会として、ゾーン30の強い要望がある旨の声を上げていただきたい。	総務文教 産業建設			
2	国道9号が慢性的に渋滞している。桂川右岸道路の必要性が大きい。		産業建設			
3	千代川町北ノ庄から国道9号に出る際、京都縦貫自動車道の信号と国道9号の2つの信号を抜けるのに渋滞する。府道宮前千歳線の鳴滝工区が完成すると、ますます交通量が増える。今でも2つの信号が待てず、縦貫自動車道の側道から湯井に抜ける車や千々川堤防を走る車、対向車線を通って右折する車などがあり、大変危険である。このような交通量の状態を把握しているのか。	堤防を通っている車があることは把握していなかった。軽トラックだけしか通さないなど、何らかの対策が必要である。対向車線を通る車があることについては、自治会から警察に要請し、取り締まりをしてもらうことも効果的ではないか。	産業建設			
4	ゾーン30になっても事故が起こらないとは限らない。事故が起こる前に1日でも早く安全な道で通学させるべきである。車の通らない農道を通学路として認めるべきではないか。	農道を通学路にするには、交通安全以外の安全面も大切である。通学路の決定は、保護者をはじめ、地域の人、自治会など、地元の総意で最終的には学校が決定する。ぜひ、地域合意を目指していただきたい。また、農家の理解も必要である。	総務文教 産業建設			
5	議会だよりを見ていると、議案に反対ばかりしている議員もいるが、反対意見は何も反映されないのか。	反対者の意見も、時によって反映してくることがある。その内容によっては、長時間かけて実現してきたこともある。	議会運営委員会			
6	千代川町にはコミュニティバスがない。車を持っていない若い人もおり、子育て支援のひろばへの往復が大変で、親子で家にこもってしまうという声も聴く。高齢化する中、車がなくても、もう少し生活しやすくないのか。	そのような要求が市内各地にあるのを市は把握しているが、公共交通機関との競合など、条件をクリアする必要がある。自治会で検討し、声を上げていってはどうか。	公共交通			